

冬期セング岩倉庫の入れ替えは、11月23日(土)午前8時～。当日、使用料もお忘れなく！！

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>



白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 令和元年11月号

村民学(ふるさと学習)に守る会も参画！！

白川村立白川郷学園は、小学校統合及び新校舎建設を契機に、保小中一貫教育やコミュニティースクール（地域住民が共に参画した学校教育）としての取り組みを進め、さらにそれらが効率的に運用出来るよう、1～9年生がひとつの学校として機能する『義務教育学校』となり設立3年目を迎えました。これにより、他の学校にはない独自の教育活動や9年間を通したカリキュラムが生まれ、地域の方々と連携した『村民学（ふるさと学習）』が特色ある教育活動として位置付けています。

守る会は、6年生のカリキュラム「守る会と結」のテーマにむけて、FA（ふるさとアドバイザー）として授業に参画しています。

まず5月に子どもたちの課題づくりに参加。子どもたちは、住民が様々な組織に所属し、結の精神で取り組んでいることに気がきました。そして「守る会」「消防団」「結」について、3つのグループに分かれて調べることが決定し、6月に和田が素材提供のお話を。その後はグループ毎に分かれて学習がスタートしました。

「守る会」については、和田が中心に質問に答えプレゼンを使ってお話を。守る会の歴史や委員の活動、役割について学び、8月には定例会の実際の様子を体験したいと、参観にきてくれました。また、合掌保存財団や教育委員会にも行き調査を深めました。

「消防団」については、消防団の幹部でもある今藤副会長が中心に対応を。教室での話に終わらず、実際の荻町の消防車やポンプ倉庫、放水銃を見学したり、消防署にも聞き取りを行いました。

「結」については、葺き師でもある野谷合掌環境部長が、屋根葺きの結の話や、実際の屋根葺き現場を案内。さらに結に関わる女性の方々の想いも知りたいと、福田総務部長や荻町女性会役員の方々からもお話を聞きました。

様々な方々からの聞き取り調査をまとめて、2学期には他学年の子どもたちに中間発表を行うとともに、今後は自分たちが地域に貢献できることは何かを考え行動に移します。中間発表では、調べたことに間違いがないか、再度FAに確認を取る念の入れよう。また、貢献活動として、学園の茅刈りに6年生も参加し茅運びのお手伝いをしながら結の意義を体感していました。

このような取り組みが、それぞれの学年のカリキュラムに基づき展開され、9年間の積み上げがなされていきます。地域を素材に地域の方々に触れ合い、ふるさとから学び、ふるさとが大好きになり、ふるさとを誇り、将来ふるさとを担う人となることを願い、取り組みが進められています。仕事がお忙しい中でもFAとして参画くださる多くの地域の皆様に、心より感謝申し上げます。 【文責：和田】

[写真：上より順に、6年教室に掲げられた村民学の計画、今藤副会長による消防団の話、野谷合掌環境部長による屋根葺きの結の話、福田総務部長及び女性会役員による結の話]



リレーコラム再開します！！・・・昨年ご好評をいただいた「リレーコラム」いよいよ再開です。今年、できるだけたくさんの、様々な立場の方の思いを発信する場になればと、昨年書いてくださった方から、その名の通り「リレー」でつないでいただくことにしました。ご指名いただいた方には、ぜひ楽な気持ちで白川村やご自身を振り返る機会にさせていただけたらと思います。不定期掲載になりますが、お楽しみに！

リレーコラム（三輪優紀さんからの紹介）

「消防団入団、操法大会、骨折を通して」 三輪 了さん



白川村に移り住んで6年目。いまいち村に馴染めきれない僕を見かねて、同じ組の先輩が消防団に誘ってくれました。これまでは仕事との両立が難しいという思いから断ってきたのですが、その先輩の熱い想いを聞いて、今年の5月に消防団に入団することとなりました。37歳、遅咲きの新入団員。6月の操法大会の選手にも選ばれ、右も左もまったく分からないなかでしたが、同じ班の皆さんにとっても良くして頂き、毎日の練習と練習後の飲コミュニケーションで充実した練習期間を過ごし、なんとか形になってきました。そして迎えた本番、妻や息子が見に来てくれたこともあってか、気持ちばかりが前に先走ってしまったのでしょ。途中でまさかの右肩から地面へ大転倒。会場から聞こえてくるどよめき…。「やってしまった！」。自分のせいで今まで積み重ねた練習を台無しにしてしまったことが、先輩団員たちに申し訳なくて泣きそうになるのを必死にこらえながら、また右肩の痛みを耐えながら、なんとかやりきりました。しかし、自分の転倒のせいで規定タイムをオーバーしてしまい審査対象外に。申し訳なさすぎて号泣していたら、右肩がはれ上がってきたので、病院にいったところ、右鎖骨の骨折！手術が必要で翌日入院！という散々な結果に。消防団や家族などたくさんの方々に迷惑をかけてしまい、しばらくは心底落ち込んでいました。しかし、この骨折のことで消防団員はじめ多くの方から励ましや労いの声をかけて頂いたり、村を歩けば「あんた、聞いたよ！大変だったね！」とたくさんの人に声をかけて頂いたりしました。消防、そして骨折を通して多くの村民の方々と関わりを深めることができ、「ようやく白川村民になれたかなあ」と感じました。これぞまさしく怪我の功名！そして10月上旬に肩に入れたボルトを抜く手術をして、ようやく完治となりました。お世話になった多くの方への感謝を胸に、また頑張っていきたいと思います！

村外から白川で暮らすことになった経緯は異なれど、地域の行事に関わって力になれたらとか、住人の方と仲良くなりたいたいとか、そのような気持ちと、自分にできるだろうとか、受け入れてもらえるだろうとかいう不安と、なんだかとても共感できる部分がたくさんあります。自分から行動することはもちろん大切ですが、三輪さんのように先輩から声をかけていただいたことで、みんなで村を守っていこうという気持ちに繋がっていくこともあるのではないかと感じました。村に暮らす皆さんも、よそから来たお嫁さんやお嬢さん、移住者の方などに声をかけることで、村を担っていく仲間が増えるかもしれませんね。 [文責：福田]

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 10月の活動報告 ＝

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 10月 9日 10月定例会・役員会 | 10月 27日 火の元検査・一斉放水（消防団） |
| 10月 10日 ねそ10月号配付 | 10月 28日 白川郷学園茅刈り活動支援（守る会有志） |
| 10月 14日 白川八幡神社とぶろく祭り（～15日） | 10月 29日 一斉茅刈りに向けた拡大役員会 |
| 10月 27日 同志社女子大麻生研究室来郷（会長） | ※ 12月の定例会は、10日(火)公民館にて開催を予定しています。 |

☆ 11月の協議事項（現状変更申請に関わって） ☆

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| ****・・・住宅部屋改修・店舗改修 | 白川村緑地資源開発公社・・・支障木の伐採、枝打ち |
| ****・・・建具変更 | ****・・・外壁の修繕 |
| | ****・・・増築・修繕 |

※オダレの注文、各組委員は11月15日(金)までに、合掌保存財団へ直接ご報告ください。
 ※火の用事に気を付けた生活を！！ さらに、放水銃や消火栓の状況、タバコのポイ捨て、家の周りの整頓、消火訓練等々、各組寄合でぜひ意見を交流いただき、各組委員は次回定例会にて報告をお願いします。